

昭和46年度リンゴ関係

生育調節剤試験成績概要

農林省園芸試験場盛岡支場 久保田 貞三

表記の検討会は昭和47年3月1日、盛岡市（岩手県共済会館）で開催されたので、その概要を紹介する。

本年度は果面被膜剤（ゴールデンのサビ果防

止）4種類、矮化剤2種類およびエスレルの計7薬剤が試験されている。判定会議の結果は下表に示したが、個々の薬剤の結果を簡単に示すと以下のとおりである。

昭和46年度リンゴ関係生育調節剤審査判定表

薬剤名	有効成分および成分含有率	剤型	試験目的	判定	内 容	委託会社名
MOR104	ポリマー・エマルジョン 50%	乳	ゴールデンのサビ防止	継?	サビ防止効果不十分	森六商事
シオノックス	無水酸化ケイ素 88%以上	水和	"	実継	実：前年通り 継：2回散布と3回散布の効果の確認	塩野義製薬
Y P C	可乳化性パラフィン 30%	乳	"	中止	サビ防止効果不十分	八洲化学
クレフノンES	CaCO ₃ 微粉末 98%	水和	"	中止	"	白石カルシウム
エスレル	2-クロロエチルホスホニック アシド 48%	液	着色および熟期促進	継	早・中生品種について散布濃度を検討	2,4-D協議会
Bナイン80	N-ジメチルサクソナミック アシド 80%	水溶	新梢伸長の抑制と花芽着生の増進	継	花芽の着生増進効果を検討	日本曹達
F-2	非公開 50%	水溶	収穫前落果防止、果実品質と貯蔵性の向上	継	試験年次不足につき継続	日本瓦斯化学

1 果面被膜剤

① MOR-104：継続？

ポリマー・エマルジョン50%を含む乳剤で、昨年度の試験ではサビ防除剤として有望な試験例がみられている。本年度は青森農試園芸部、岩手園試、宮城園試、秋田果試、山形園試で試験が行われたが、いずれの試験結果もサビ防止効果が十分でなく、また処理濃度を増しても効果の向上がみられていないことより、希望によっては検討するということで継続？と判定した。

② シオノックス：実継

本剤は昨年度の試験で3%2回散布で実用の判定をうけたが、サビ発生の多い地域でサビ防止効果にむらがみられたとの試験例もあり、散布回数とくに3回散布の効果の確認ということで試験が継続された薬剤である。本年度はこの点を明らかにするため、青森りんご試、青森農試園芸部、岩手園試、秋田果試、山形園試、福島園試、園試盛岡で試験が行われた。

その結果、一部の場所で対照として用いたサ

ビノックに劣る試験例もあったが、全般に高いサビ防止効果を示した。しかし2面散布と3面散布との効果については結果に不一致がみられており、また3面散布樹での樹による効果の振れが1部場所から指摘されている。以上のように本年の結果からは散布回数とサビ防止効果との関係が必ずしも明確でなく、なお試験を要するとし、判定は前年通り（実継）とした。

③ Y P C：中止

可乳化性パラフィン30%を含む乳剤である。本剤も昨年度の試験で有望な試験例のみられた薬剤の1つで、本年は青森農試園芸部、岩手園試、秋田果試、山形園試、長野園試で試験を担当したが、いずれの試験結果もサビ防止効果は不十分で、また散布濃度を100倍から50倍に増すとサビ発生も増加し、とくにガクア部での発生が著しかったことより山形園試では被害らしいとしている。以上の結果から、試験は本年で中止することとした。

④ クレフノンES：中止

CaCO_3 98%を含む水和剤である。試験は青森りんご試、青森農試園芸部、岩手園試、秋田果試、富山農試、長野園試で担当したが、いずれの試験結果もサビ防止効果が十分でなかったことより本剤についても試験は本年で中止することとした。

2 着色・熟期促進剤（エスレル）：継続

昨年度の試験で着色・熟期促進効果がみとめられたので、本年は品種と散布時期、濃度との関係を明らかにするため、祝、茜、紅玉、ゴールデン、ふじ、国光種を対象に青森りんご試ほかりんご主要生産果11場所で、夫々2～3品種づつ分担し検討を行った。品種としては前記のほか、恵、陸奥、印度、スタークリムソンも

一部場所で供試されている。

その結果、着色または熟期促進効果は祝、紅玉でみられ、散布時期として祝で満開後60～70日、紅玉では110～120日の処理で良い結果がみられた。しかしその他の品種ではエスレルの着色・熟期促進効果が明らかでなく、前年の結果とは必ずしも一致せず、品種によっては年により効果に差がみられているが、これら兩年の結果からみて、エスレルの処理効果は早・中生品種に反応が顕われ易く、晩生品種には反応の鈍い傾向がみられる。またエスレルの効果の1つである地色の黄化も供試された各品種とも幾分促進される傾向を示したが、祝、紅玉を除いてはその影響は顕著でなかった。しかし、処理方法によってはゴールデンや陸奥など黄色系品種の地色の改善に適用の可能性は十分考えられる。エスレル処理の問題点としては、着色・熟期等への反応の著しい処理ほど落果・裂果（祝）、蜜病などの障害も助長されることで、これに対する対策が今後の課題の1つともなろう。

以上、兩年の試験から、品種、散布時期、濃度等の的もある程度しぼられてきたが、実用にはさらに濃度とか、障害排除の検討が必要で、判定は継続とした。以上のほか、りんごへのエスレルの適用として効果時の散布でふじ、国光等の摘果剤としても効果が期待出来るようで、安全な散布方法の解立が望まれる。

3 矮化剤

① Bーナイン80：継続

本剤は収穫前落果防止、果実の着色、品質および貯蔵性の増進で昨年実用と判定されている。

本年は適用拡大試験として若木の伸長抑制、

花芽着生の増進効果について、スターキング、ふじ、ゴールデンを対象に青森りんご試、秋田果試、長野園試、富山農試で試験が行われた。

その結果、新梢抑制効果は1部の県で対照薬剤Bナイン93に劣る試験例もみられたが、両製剤間に差がないとする試験例が多く、Bナイン93と同等の効果とみられたが、花芽着生への効果については検討が十分でなく、その確認が必要との事で継続と判定した。

② F-2：継続

成分未公開の50%水溶剤で、収穫前落果防止、果実の品質・貯蔵性の増進効果について青森りんご試、秋田果試、長野園試、富山農試、

岩手園試、秋田果試花輪分場で試験が行なわれた。品種としてはスターキングのほかゴールデン、紅玉、王鈴も一部場所で供試されている。

収穫時の果実品質についての調査では対照として用いたBナインと同様の効果がみられたとする場所、また全く処理の影響がみられないとする場所もあり、処理効果に結果の不一致がみられている。貯蔵性への影響については調査中であるが、富山農試からはゴールデン、王鈴で収穫後の日持ちが良いと報告された。処理濃度としては1,000ppm以上が必要と思われる。判定は試験1年目であることから継続とした。

新 登 録 除 草 剤 一 覧

農 林 省 農 政 局 植 物 防 疫 課

昭和47年4月1日～5月31日

分類	種類名	商品名	有効成分の種類および含有量	剤型	適用場所又は対象作物名	適用雑草名	適用土壌	使用時期	10a当り使用量	使用方法	登録会社
非ホルモン型	DBN 除草剤	カソロン粒剤 6.7	2,6-ジクロロベンゾニトリル 6.7%	粒剤	りんご	1年生雑草	全土壌	春期の雑草発生初期	8～12Kg	散布	兼 商
					桑		砂土及び赤黄色土壌（非火山灰性土壌）を除く全土壌	雑草発生前～発生初期（春及び夏切直後）	6～8Kg		
					りんご	ギンギン、ヨモギ、タンポポ、ヤブカラシなどの多年生広葉雑草	全土壌	春期の雑草発生初期	8～10Kg		
					みかん			雑草の生育期			
					牧野草地	イネ科牧草 マメ科牧草	ヤブカラシ ギンギン ヨモギ	雑草の出芽展葉期	1株当り 1～2g		